

「未来へつなぐ
とちぎの挑戦」

とちぎの
挑戦
2020

人生100年真剣勝負！ 誠実にそして着実に

岡
きよし
作詞川島
博
作
曲

栃木県県章・県民の歌選定委員会補作

一、とちの葉の風さわやかに

晴れわたる町よいらかよ

男体は希望に明けて

ひ
ひかり
日の光
よもにみなぎる

栃木県 われらのわれらのふるさと

二、鬼怒きぬがわ川の水みずきよらかに

尽くるなきさちよ恵みよ

せいさん
生産は
ひ
日ごとに伸びて
の

躍進やくしんのいぶきたくまし

栃木県 われらのわれらのふるさと

三、人の和の夢をおおらかに

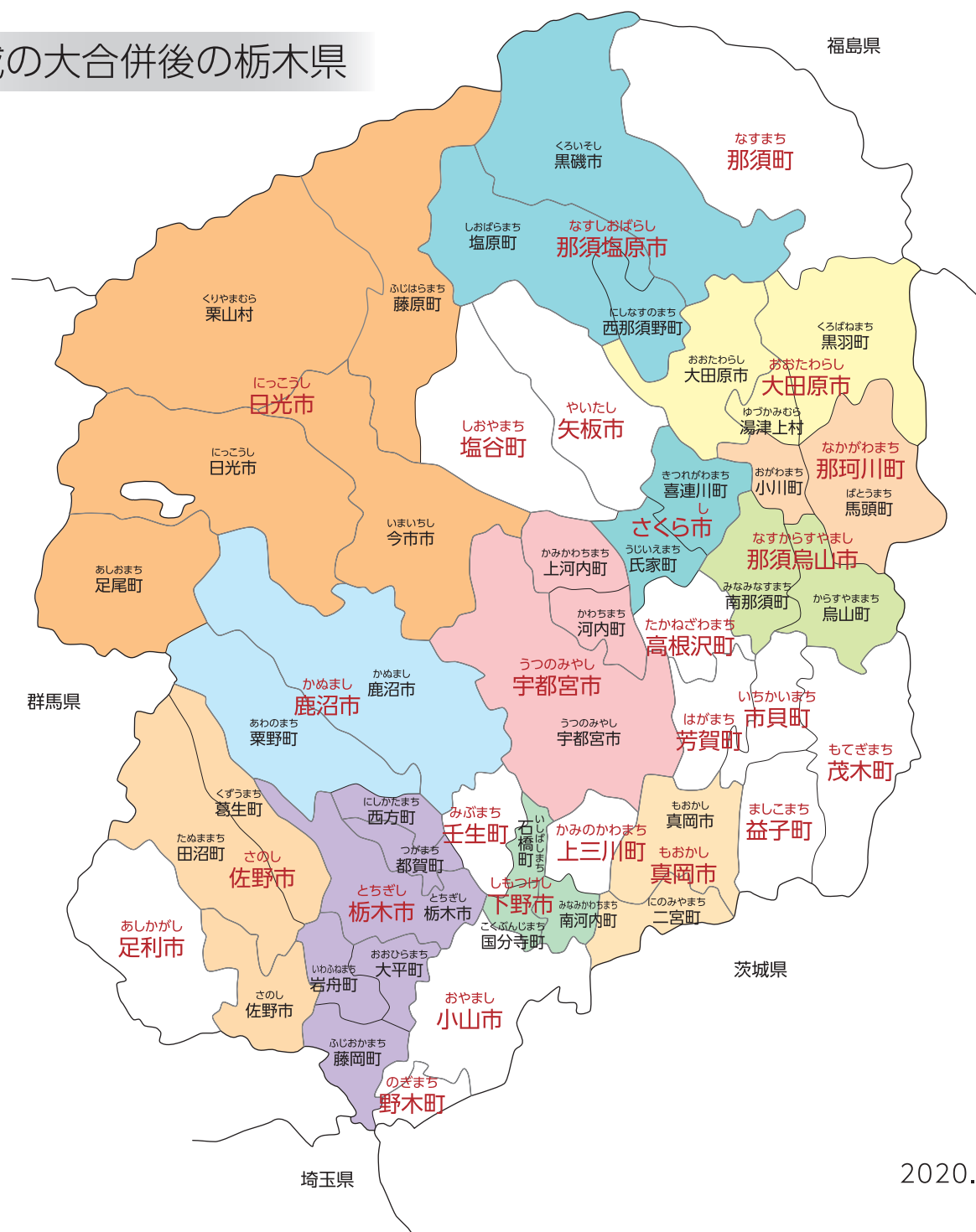
盛りあがる自治よ自由よ

けんらの文化ぶんかにはえて

としえに 若さあふるる わか

栃木県 われらの
われらのふるさと

平成の大合併後の栃木県



2020.10.08

(昭和二十七年十二月二十五日制定)

とちぎの挑戦2020

目次

I 「未来へつなぐ～とちぎの挑戦(誠実にそして着実に)」 P1

II 「とちぎの挑戦2020」の構成 P2

1 県民の命と暮らしを「守る」

2 とちぎの力を「伸ばす」

3 とちぎに新たな価値を「創る」

4 とちぎを次の世代へ「つなぐ」

◎ 次世代とちぎ活性化プロジェクト

III 「とちぎの挑戦2020」の内容 P3

IV 最重要項目及び新たに取り組む項目 P8

V 県政4年間の主な実績 P19

I 「未来へつなぐ～とちぎの挑戦(誠実にそして着実に)」

I 「未来へつなぐ～とちぎの挑戦(誠実にそして着実に)」



日本の著名な学者が、世界のノーベル賞受賞者の
生地を訪ね三つの共通点を発見した。

- 1 伝統、習慣を大切に守り伝えている。
- 2 物や金でなく強い精神性にあふれている。
- 3 絵画に描かれるような神社仏閣等美しい景観がある。

とちぎはこれらを満足する。

農産物やものづくりで、日本を代表するとちぎは、
「人づくり」の環境にも、極めて優れている。

新型コロナウイルス感染症は、

日本、そして栃木県にも大きな脅威となって立ちはだかっています。

この難局をオールとちぎで乗り越えていかなければなりません。

今こそ、とちぎの力がためられています。

とちぎには、誇れる地域資源、力強い産業、郷土を愛する多くの県民がいます。

皆さんと力を合わせて、この難局を克服し、人を育て、新しいとちぎのかたちを描き、

次の世代に引き継ぐことにより、とちぎの輝く未来を創生します。

福田 富一

Ⅱ「とちぎの挑戦2020」の構成

「未来へつなぐ～とちぎの挑戦（誠実にそして着実に）」

「人生100年 真剣勝負！」

1 県民の命と暮らしを「守る」

新型コロナウイルス対策の充実強化を図るとともに、気候変動、頻発する災害など様々なリスクに備えます。さらに、医療・介護等サービスの充実を図り、県民の命と暮らしを守ります。

2 とちぎの力を「伸ばす」

次代を担う人づくりに積極的に取り組むほか、県内産業におけるデジタル変革の促進、DCレガシーを活かした観光地の磨き上げなどにより、とちぎの実力を伸ばします。

3 とちぎに新たな価値を「創る」

官民を挙げてデジタル化を推進し、コロナ時代の「新たな日常」に対応するとともに、地方創生を深化させ、Society5.0における新たな価値をとちぎに創り出します。

4 とちぎを次の世代へ「つなぐ」

環境への配慮や地域資源の活用、誰もが活躍できる共生社会の実現により県民が誇りを持てるふるさととちぎをつくり、次の世代へつなぎます。

◎ 次世代とちぎ活性化プロジェクト

大きく変化する社会の中で、とちぎが日本をリードしていくため、自らが持つ限りないポテンシャルを最大限に活かし、とちぎに新しい輝きをもたらすプロジェクトを推進します。

Ⅲ「とちぎの挑戦2020」の内容

※ ◎印は最重要項目 ○印は新たに取り組む項目、●印は既存事業の充実強化を目指す項目です。

1 県民の命と暮らしを「守る」

【最重要項目】（2項目）

- ◎ 新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の両立
 - ・PCR等検査体制の拡充強化
 - ・季節性インフルエンザの流行期に備えた検査体制の拡充
 - ・患者受入病床の確保
 - ・市町と連携した感染防止対策等の実施
 - ・飲食店等に対する感染防止対策の徹底及び支援
 - ・消費や観光需要の喚起
 - ・中小・小規模事業者の資金繰りやサプライチェーン再構築の支援
 - ・雇用の維持確保
 - ・「感染症に関する正しい知識」と「人権への配慮」の普及啓発
- ◎ 令和元年東日本台風で受けた甚大な被害からの復旧・復興
 - ・改良復旧事業実施河川：永野川、秋山川、荒川、思川、黒川、田川、巴波川
 - ・中小河川の堆積土砂の撤去
 - ・防災・減災のためのインフラ整備
 - ・地区防災計画策定の支援
 - ・総合的な流域治水の推進

【防災・減災、防犯】（5項目）

- 県の総合防災拠点の整備
- 災害時等においても県民の安全・安心な生活を確保することができる広域道路の整備（国の直接施工による国道121号、八溝地域広域幹線道路など）
- 「逃げ遅れによる人的被害ゼロ」を目指した防災リテラシーの向上
- 改修整備が遅れている中小河川の整備推進
- 治安情勢の変化に対応した犯罪抑止、特殊詐欺の撲滅及び検挙対策の充実

【医療・健康づくり、くらし】（10項目）

- 重度心身障害者医療費助成制度の対象者の拡大
- がん患者等が安心して治療を継続できる環境の整備
- とちぎ地域医療支援センターの拡充等による医師確保の推進
- 高い専門性や実践能力を有する看護師等の育成・確保、定着の促進
- 福祉・介護職員の確保と定着
- ICTやアプリ等を活用した県民の健康づくりの推進
- 地域包括ケアシステムの構築等の推進
- 認知症医療連携体制と認知症患者等の家族介護者を支える仕組みの充実
- 救急医療等を担う地域中核病院の支援
- 地域住民の暮らしを支える公共交通網の維持確保のための支援



2 とちぎの力を「伸ばす」

【教育】（10項目）

- 新たな学力アッププロジェクトの推進
- 公立学校におけるICT教育の推進
- 進学型単位制の導入をはじめとした特色ある高校教育の推進
- 私立高等学校におけるICT教育の支援
- とちぎっ子体力アッププロジェクトの推進
- スクールソーシャルワーカーの全中学校区への配置拡充
- みかも山公園への新青少年教育施設の整備
- 英語教育の充実や留学支援を通じたグローバル人材の育成
- インクルーシブ教育システムや特別支援学校の学習環境の充実
- ニートやひきこもりなどの子どもや若者に対する相談支援の推進



【産業振興・企業誘致・デジタル変革】（10項目）

- 戦略的な産業分野における未来技術の活用促進
- サービス産業におけるイノベーションの推進
- 市町等と連携した“売れる産業団地”の整備
- 様々な分野のプロ人材を育成する「とちぎ職業人材カレッジ」（仮称）の開設
- テレワークの普及促進及び女性活躍のための職場環境づくりの推進
- 就職氷河期世代の正規雇用に向けた就労支援
- 新たな手法を用いた企業等の海外展開支援
- 駐日大使等への「とちぎ型大使館外交」の展開
- フードバレーとちぎ発展プロジェクトの推進
- 就労環境や受入体制の整備などによる外国人材の活躍の促進



【農林業の成長産業化】（10項目）

- 法人の設立や集落営農組織の再編等による「とちぎ広域営農システム」の構築
- 農業高校と農業大学校との連携による次世代デジタル農業教育の推進
- 女性農業者が主役となったアグリビジネス創出の支援
- 未来技術を活用したスマート農業及びスマート林業の推進
- 林業における多種多様な人材を育成する林業大学校の設置
- 園芸大国とちぎづくりの加速化
- 県産農産物のブランド力の強化
- “いちご王国・栃木”戦略の着実な推進
- とちぎ食肉センターの活用等による県産農産物の輸出の促進
- 飼養豚及び野生イノシシに係るCSF（豚熱）対策の強化



【観光立県】（5項目）

- 国際会議等コンベンション・国際的スポーツイベントの誘致による「Tochigi」ブランドの構築
- DCレガシーや新たな手法を活用した国内観光誘客、インバウンドの拡大
- 民間活力を活かした都市公園の魅力向上
- みかも山公園における“令和花の杜”の整備
- 日光国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化の促進

【スポーツ、ブランド力】（8項目）

- いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の成功と天皇杯・皇后杯の獲得
- いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会のレガシーの活用と県民一人一スポーツの推進
- 「お試し関西アンテナショップ」の開設
- 総合スポーツゾーンの積極的活用によるスポーツの振興
- とちぎスポーツ医科学センターを活用した県内アスリートの育成・強化
- 県内プロスポーツチームへの支援、選手との交流促進による地域の活性化
- 東京オリンピック・パラリンピック及び聖火リレーの成功に向けた貢献、ホストタウン交流の積極的推進
- デジタルメディア等を活用したブランド力の向上

3 とちぎに新たな価値を「創る」

【新たな価値の創造】（5項目）

- 未来技術の利活用により地域課題等の解決を目指す栃木県版サンドボックスの創設
- サテライトオフィスの誘致、テレワーク・ワーケーションの普及促進
- 県内企業の未来技術の活用を支援する「とちぎAIセンター」（仮称）の設置
- 政府が国内に誘致を計画する外国の先端企業等の誘致
- 行政手続きのオンライン化等によるデジタル県庁の実現

【地域づくり】（8項目）

- デジタル技術を活用した新たな移住相談・情報発信
- AI等を活用した無人自動運転サービス等の導入
- 地方創生に向けた中山間地域をはじめとした地域づくり活動の支援
- 新たな自転車イベントの実施による「自転車先進県とちぎ」の発信
- eスポーツ振興による若者等の関係人口の創出
- LRT整備事業の支援や県央地域の公共交通ネットワークの構築
- 市町が地域の課題解決を目指して設置する栃木ふるさと支援センターへの支援
- スマートインターチェンジ整備などによる東北縦貫自動車道、北関東自動車道の機能強化



4

とちぎを次の世代へ「つなぐ」

【環境を守り育てる】（6項目）

- 環境に配慮したいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会開催を契機とした環境産業の振興
- 気候変動適応プロジェクトの推進
- クビアカツヤカミキリなどの特定外来生物撲滅プロジェクトの推進
- 全国のモデルとなる安全で安心な管理型産業廃棄物最終処分場の整備
- 野生鳥獣の個体数調整や農林業被害の防止などの総合的な対策の推進
- 指定廃棄物の処理に関する県としての役割の実行

【子ども・子育て支援】（6項目）

- フォスタリング機関の設置による里親支援の強化
- 子だくさん応援プロジェクトの展開
- 県北児童相談所の整備等による虐待対応力の強化
- 子ども総合科学館のグランドリニューアル
- ICTを活用したとちぎ結婚支援センターの機能強化と出会いの場の創出
- 保育所待機児童0（ゼロ）作戦の展開



【共生社会の実現】（8項目）

- 障害者のコミュニケーション手段に関する条例の制定
- 新たな日常における課題の解決等を通じた非営利団体の育成支援
- AI等を活用した「地域共生社会」実現に向けた取組の推進
- 様々な分野における女性活躍の推進
- 性の多様性が尊重される環境づくり
- とちぎ生涯現役シニア応援センター（ぷらっと）を活用したシニアの活躍促進
- 栃木県障害者差別解消推進条例の運用による障害者の自立と共生の促進
- 外国人の地域定着を図る多文化共生社会とちぎづくりの推進

【文化】（3項目）

- 地域資源を活用した「歴史・文化の回廊」の創設
- 「とちぎの文化」の新たな魅力創造、発信
- 文化振興基金を活用した民間団体等の文化事業に対する支援

【持続可能な社会】（5項目）

- 県と市町との役割分担に基づく新たな連携体制の構築
- 特定課題についての市町とのホットラインの開設
- 企業や市町等と連携したSDGsの取組の推進
- 市町に対する人的支援の強化と人事交流の推進
- ゆるぎない行財政基盤の確立に向けた財政健全化、職員数の適正管理

◎ 次世代とちぎ活性化プロジェクト

- 国際観光都市日光における新たな公共交通システムの導入促進
- 「文化と知」創造拠点（美術館、図書館等）構想の策定
- 中央省庁など首都が有する機能の一部の地方分散の働きかけ
- 「栃木県版スマートシティ構想」の策定
- 100年プロジェクトの推進
 - ・ 地域資源を活かし未来へつなぐ「昭和100年事業」の推進
 - ・ 健康長寿日本一とちぎの実現を目指す「人生100年時代プロジェクト」の推進
 - ・ 美しい郷土を守るための「100年治水プロジェクト」の推進
 - ・ 県民の暮らしを守る「100年安心・安全とちぎプロジェクト」の推進
 - ・ 災害に強い地域づくりのための「電力自給率100%実現プロジェクト」の推進



Ⅳ 最重要項目及び新たに取り組む項目

項 目	内 容
1 県民の命と暮らしを「守る」	
【最重要項目】	
①新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の両立	・PCR等検査体制の拡充強化と患者受入病床の確保に取り組めます。 ・季節性インフルエンザの流行期に備え検査体制を拡充します。 ・市町と緊密に連携を図りながら、感染拡大防止と社会経済活動の両立に向けた取組を実施します。 ・飲食店等における3密回避や手指消毒等の徹底を図るとともに、新しい生活様式を踏まえた感染防止対策の取組を支援します。 ・更なる消費や観光需要の喚起、中小・小規模事業者の資金繰りやサプライチェーン再構築を支援します。 ・中小・小規模事業者の雇用の維持確保に取り組めます。 ・「感染症に対する正しい知識」と「人権への配慮」についての普及啓発に取り組む、感染者やその家族、医療従事者等への誹謗中傷をなくします。
②令和元年東日本台風で受けた甚大な被害からの復旧・復興	・令和元年東日本台風で受けた甚大な被害からの復旧・復興に全力で取り組めます。 ・永野川、秋山川、荒川、思川、黒川、田川、巴波川において改良復旧事業を実施します。 ・中小河川の堆積土砂の撤去を実施します。 ・防災・減災のためのインフラ整備を実施します。 ・地域コミュニティにおける共助による自発的な防災活動を推進するため、地区防災計画の策定を支援します。 ・堤防整備や田んぼダムなどにより河川流域全体での治水対策を推進します。

項 目	内 容
【防災・減災、防犯】	
①県の総合防災拠点の整備	大規模災害に備えた国の防災機能のバックアップ等を担う県の総合防災拠点を整備するとともに、防災教育を充実します。
②災害時等においても県民の安全・安心な生活を確保することができる広域道路の整備	災害時においても県民の安全・安心な生活を確保できるよう、国の直接施工による国道121号をはじめ、八溝地域の新たな広域幹線道路など新広域道路交通計画に基づく広域道路の整備を推進します。
③「逃げ遅れによる人的被害ゼロ」を目指した防災リテラシーの向上	防災に関するアプリ等を活用した情報発信や防災意識の啓発、地域における自主防災活動の推進等により、「逃げ遅れによる人的被害ゼロ」を目指します。
④改修整備が遅れている中小河川の整備推進	令和元年東日本台風により顕在化した中小河川の氾濫被害を防止するため、改修整備を推進します。
⑤治安情勢の変化に対応した犯罪抑止、特殊詐欺の撲滅及び検挙対策の充実	ネット犯罪の増加など治安情勢の変化に対応した犯罪抑止、特殊詐欺の撲滅及び検挙対策の充実を図ります。
【医療・健康づくり、くらし】	
①重度心身障害者医療費助成制度の対象者の拡大	重度心身障害者医療費助成制度について、市町と協議し、精神障害者まで対象を拡大します。
②がん患者等が安心して治療を継続できる環境の整備	がん患者や生活習慣病患者等が仕事をしながら安心して治療を継続できる環境を整備します。
③とちぎ地域医療支援センターの拡充等による医師確保の推進	とちぎ地域医療支援センターサテライトの設置により、県外の医学部進学者の県内医療機関へのUターンを促進するなど、医師確保を推進します。

項 目	内 容
④高い専門性や実践能力を有する看護師等の育成・確保、定着の促進	高度・複雑化する医療等に対応するため、養成機関等と連携して、高い専門性や実践能力を有する看護師等の育成及び確保を図るとともに定着を促進します。
2 とちぎの力を「伸ばす」	
【教育】	
①新たな学力アッププロジェクトの推進	児童生徒の学力向上を目指し、市町教育委員会等と連携した新たな学力アッププロジェクトを推進します。
②公立学校におけるICT教育の推進	GIGAスクール構想によるICT環境の整備を推進するとともに、ICTを効果的に活用した教育活動を推進します。
③進学型単位制の導入をはじめとした特色ある高校教育の推進	生徒の学ぶ意欲を高め、個性や能力を一層伸ばすため、県内進学校への進学型単位制の導入をはじめとした特色ある高校教育を推進します。
④私立高等学校におけるICT教育の支援	私立高等学校におけるICTを活用した教育活動を支援します。
⑤とちぎっ子体力アッププロジェクトの推進	児童生徒の体力向上を図るため、ICTや外部人材を活用したとちぎっ子体力アッププロジェクトを推進します。
⑥スクールソーシャルワーカーの全中学校区への配置拡充	市町と連携し、児童生徒の悩みや問題行動の解決を支援するスクールソーシャルワーカーを増員し、全中学校区へ配置を拡充します。
⑦みかも山公園への新青少年教育施設の整備	青少年に多様な体験活動の機会を提供するため、みかも山公園に新青少年教育施設を整備し特色ある運営を行います。

項 目	内 容
【産業振興・企業誘致・デジタル変革】	
①戦略的な産業分野における未来技術の活用促進	優れた技術や産業集積を強みとする自動車、航空宇宙、医療福祉機器の「戦略3産業」において、AI・IoT・ロボット技術、光学技術、環境・新素材技術の「未来3技術」を活用した新製品開発や新事業創出を促進し、ものづくり県の更なる発展を目指します。
②サービス産業におけるイノベーションの推進	サービス産業を魅力ある産業に磨き上げるため未来技術の活用による経営改善を支援するとともに、社会課題の解決など新サービスを創出する企業の創業を支援します。
③市町等と連携した“売れる産業団地”の整備	時代の変化や企業ニーズを踏まえた“売れる産業団地”を市町等と連携して整備します。
④様々な分野のプロ人材を育成する「とちぎ職業人材カレッジ」(仮称)の開設	民間企業や大学等と連携し、IT技術やものづくり、食などの様々な分野のプロ人材を育成する「とちぎ職業人材カレッジ」(仮称)を開設します。
⑤テレワークの普及促進及び女性活躍のための職場環境づくりの推進	テレワーク及びワーケーションを普及促進するとともに、女性が希望に応じて、仕事と家庭を両立できる職場環境づくりを推進します。
⑥就職氷河期世代の正規雇用に向けた就労支援	企業や労働局、経済団体等の関係機関との緊密な連携により企業と求職者のマッチングやセミナー等を開催し、就職氷河期世代の正規雇用に向け就労を支援します。
⑦新たな手法を用いた企業等の海外展開支援	Webサイトを活用した外国人留学生と企業のマッチングによる海外展開を支援します。
⑧駐日大使等への「とちぎ型大使館外交」の展開	海外への直接訪問に加えて、駐日大使等へトップセールスを行う「とちぎ型大使館外交」を展開します。

項 目	内 容
【農林業の成長産業化】	
①法人の設立や集落営農組織の再編等による「とちぎ広域営農システム」の構築	地域の農業を将来に向けて維持、活性化していくため、新たな法人の設立や集落営農組織の再編などによる「とちぎ広域営農システム」を構築します。
②農業高校と農業大学校との連携による次世代デジタル農業教育の推進	高い技術と知識を備えた新規就農者を育成するため農業高校と農業大学校との連携によるAIやVR（仮想現実）などを活用した次世代デジタル農業教育を推進します。
③女性農業者が主役となったアグリビジネス創出の支援	若い世代の女性に取り組むことができるアグリビジネスの創出等により、女性の農業経営への参画や新規就農を促進します。
④未来技術を活用したスマート農業及びスマート林業の推進	スマート農業及びスマート林業を推進し、AIやIoT等の未来技術の活用による生産性の向上と安全性の向上を図ります。
⑤林業における多種多様な人材を育成する林業大学校の設置	就業前の施業技術や資格取得等の研修、就業後の習熟度に応じたスキルアップ研修、林業経営者研修など総合的な人材育成を行う林業大学校を設置します。
【観光立県】	
①国際会議等コンベンション・国際的スポーツイベントの誘致による「Tochigi」ブランドの構築	国際会議等コンベンションや国際的スポーツイベントの誘致に取り組み、世界の人を惹きつける「Tochigi」ブランドを構築します。
②DCレガシーや新たな手法を活用した国内観光誘客、インバウンドの拡大	DCレガシーを活かし、観光資源の掘り起こしや磨き上げを行うとともに、サイクルスポーツや豊富な自然資源を活用した旅行商品の販売促進等により国内観光客や外国人観光客の誘客を強化します。

項 目	内 容
③民間活力を活かした都市公園の魅力向上	Park-PFI制度などの活用により、民間活力を活用しながら、多目的活用を図るなど都市公園の魅力向上を図ります。
④みかも山公園における“令和花の杜”の整備	みかも山公園周辺を四季を通じて花に親しめる“令和花の杜”として整備し、周辺エリアの誘客促進と地域の活性化を図ります。
【スポーツ、ブランド力】	
①いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の成功と天皇杯・皇后杯の獲得	2022年に開催する、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会を成功させるとともに、天皇杯・皇后杯の獲得を目指します。
②いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会のレガシーの活用と県民一人一スポーツの推進	両大会の開催に向け整備した総合スポーツゾーンなどの施設等を有効に活用するとともに、県民一人一スポーツを推進します。
③「お試し関西アンテナショップ」の開設	関西圏におけるブランド力の向上を図るため、「お試し関西アンテナショップ」を開設します。
3 とちぎに新たな価値を「創る」	
【新たな価値の創造】	
①未来技術の利活用により地域課題等の解決を目指す栃木県版サンドボックスの創設	未来技術の利活用による地域課題等の解決を目指し、未来技術とのマッチングや実証実験等を行う栃木県版サンドボックスを創設します。
②サテライトオフィスの誘致、テレワーク・ワーケーションの普及促進	サテライトオフィスの誘致やテレワーク・ワーケーションの普及促進により、とちぎへの企業の移転や東京圏在住者等の移住・定住を促進します。

項 目	内 容
③県内企業の未来技術の活用を支援する「とちぎAIセンター」(仮称)の設置	県内企業の生産性向上等を図るため、AIやIoT等の未来技術の活用を支援する「とちぎAIセンター」(仮称)を設置します。
④政府が国内に誘致を計画する外国の先端企業等の誘致	政府が国内に誘致を計画する外国の先端企業等について、ものづくり県として本県への誘致を目指します。
⑤行政手続きのオンライン化等によるデジタル県庁の実現	行政手続きにおける電子申請の拡大などオンライン化等の推進により、デジタル県庁を実現し、県民サービスの向上に努めます。
【地域づくり】	
①デジタル技術を活用した新たな移住相談・情報発信	デジタル技術を活用し、リアルとオンラインが融合した新たな移住相談や地域の魅力発信に取り組みます。
②AI等を活用した無人自動運転サービス等の導入	AI等を活用した無人自動運転サービスなど、次世代型公共交通システムの導入を進めます。
③地方創生に向けた中山間地域をはじめとした地域づくり活動の支援	中山間地域など地域の生活機能を維持するための「小さな拠点」づくりや、地域の特色を活かしながら地方創生に向けて取り組む地域づくり活動を支援します。
④新たな自転車イベントの実施による「自転車先進県とちぎ」の発信	自転車通行環境の整備を推進するとともに、新たな自転車イベント(「ぐるとち」)を開催し、「自転車先進県とちぎ」を全国に向けて発信します。
⑤eスポーツ振興による若者等の関係人口の創出	eスポーツの振興を図り、大会の開催等を通じて地域における賑わいを生み出すことにより、地域の活性化と若者をはじめとした関係人口の創出を図ります。

項 目	内 容
4 とちぎを次の世代へ「つなぐ」	
【環境を守り育てる】	
①環境に配慮したいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会開催を契機とした環境産業の振興	「環境に配慮した いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」推進宣言に基づき、国体を開催するとともに、国体開催を契機として、環境産業の振興を図ります。
②気候変動適応プロジェクトの推進	気候変動適応センターで得られた科学的知見に基づき、行政・事業者・研究機関が一体となって適応策の創出を目指す気候変動適応プロジェクトを推進します。
③クビアカツヤカミキリなどの特定外来生物撲滅プロジェクトの推進	生態系や農林業、人の生命・身体に対する被害を防止するため、クビアカツヤカミキリなどの特定外来生物撲滅プロジェクトの推進により、侵入防止や防除など、各種取組を強化します。
④全国のモデルとなる安全で安心な管理型産業廃棄物最終処分場の整備	多重安全システムを備えた全国のモデルとなる安全で安心な管理型産業廃棄物最終処分場として、県営処分場「エコグリーンとちぎ」を整備し、運営を行います。
【子ども・子育て支援】	
①フォスタリング機関の設置による里親支援の強化	健やかな子どもの成長を社会全体で支えるため、フォスタリング機関を設置して里親を支援するとともに、里親制度の積極的な活用を図ります。
②子だくさん応援プロジェクトの展開	誰もが安心して子どもを生み、育てることができるよう、不妊治療への支援に加え、多子世帯における幼児期の子育てに係る経済的負担を軽減します。
③県北児童相談所の整備等による虐待対応力の強化	県北児童相談所の整備を進めるほか、児童福祉司等の専門職の配置を拡充することにより、虐待対応力を強化します。

項 目	内 容
④子ども総合科学館のグランドリニューアル	最新の科学技術や本県の特徴ある産業を身近に感じることで、子どもたちが学び、理解を深めることができるよう展示内容の充実を図るなど、子ども総合科学館のグランドリニューアルを実施します。
【共生社会の実現】	
①障害者のコミュニケーション手段に関する条例の制定	障害者のコミュニケーション手段が多様であることについて県民理解の促進を図るため、コミュニケーション手段に関する条例を制定します。
②新たな日常における課題の解決等を通じた非営利団体の育成支援	新たな日常における課題の解決や地域貢献活動等に取り組むとともに、高齢者や障害者の生きがいづくりにも取り組む非営利団体の育成を支援します。
③AI等を活用した「地域共生社会」実現に向けた取組の推進	AI等を活用した見守りシステムの構築等により、誰もが安心して暮らせる「地域共生社会」の実現を目指します。
④様々な分野における女性活躍の推進	女性が、様々な分野において社会参画を進め、自らの個性と能力を発揮しながら活躍できるよう支援します。
⑤性の多様性が尊重される環境づくり	性的指向、性自認について、正しい理解を促進し、自分らしく生きられる環境づくりを進めます。
【文化】	
①地域資源を活用した「歴史・文化の回廊」の創設	県内各地の特徴ある歴史や文化資源を活用して「歴史・文化の回廊」を創設し、地域づくりに活かします。
②「とちぎの文化」の新たな魅力創造、発信	観光、産業、まちづくり等の関連分野と連携した新たな文化活動の基盤をつくり、とちぎの文化の新たな魅力を創造・発信し、文化による地域の活性化を目指します。

項 目	内 容
【持続可能な社会】	
①県と市町との役割分担に基づく新たな連携体制の構築	児童虐待防止や子育て支援等の施策において、県と中核市である宇都宮市をはじめとする市町との役割分担を整理し、連携協力して取組を推進します。
②特定課題についての市町とのホットラインの開設	感染症や大規模災害、その他重大な行政課題等の特定課題について、市町との緊密な連携を図り、各種対策を効果的かつ迅速に推進するため、市町とのホットラインを開設します。
③企業や市町等と連携したSDGsの取組の推進	SDGsが目指す目標の達成に向けて、県として取組を推進するとともに、県民や企業、市町等と理念や目標を共有し、SDGsにつながる行動を促します。
◎ 次世代とちぎ活性化プロジェクト	
①国際観光都市日光における新たな公共交通システムの導入促進	国際観光都市日光において、奥日光地区を含めて円滑に周遊できるよう、更なる観光インフラの充実を図るなど新たな公共交通システムの導入を促進します。
②「文化と知」創造拠点(美術館、図書館等)構想の策定	「文化と知」の創造拠点である美術館、図書館、文書館等の更新整備のあり方について構想を策定します。
③中央省庁など首都が有する機能の一部の地方分散の働きかけ	これまで進めてきた国会等移転の方針を継続しながら、新たに中央省庁をはじめとした国の機関など、首都が有する機能の一部について、地方への分散移転を市町とともに国に働きかけていきます。
④「栃木県版スマートシティ構想」の策定	未来技術等の積極的な活用による持続可能な社会の構築など「栃木県版スマートシティ構想」を策定し、市町と連携してその具体化に取り組めます。

項 目	内 容
⑤ 地域資源を活かし未来へつなぐ「昭和100年事業」の推進	とちぎの歴史、食、田園風景、景勝、祭りなどの地域資源をつなぐ「ふるさと街道」を選定するとともに、県と市町をメンバーとする地域創生協議会を設置し、当該地域の振興や活性化に向けた方策を検討します。
⑥ 健康長寿日本一とちぎの実現を目指す「人生100年時代プロジェクト」の推進	歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及をはじめ、フレイル予防の啓発、親子で取り組む健康づくりの推進、認知症予防に向けた取組の推進等により、健康長寿日本一とちぎの実現を目指します。
⑦ 美しい郷土を守るための「100年治水プロジェクト」の推進	美しい郷土を守るため、水源保護や棚田・湿地等のグリーンインフラの保護活用を図るとともに、堤防整備や遊水池の整備、田んぼダムの活用等により雨水流出量の抑制を図るなど、流域全体で防災・減災に取り組めます。
⑧ 県民の暮らしを守る「100年安心・安全とちぎプロジェクト」の推進	自然災害や犯罪、交通事故等による被害の原因を詳細に調査・分析し、必要な対策を着実に講じることにより、県民の安心・安全な暮らしを守ります。
⑨ 災害に強い地域づくりのための「電力自給率100%実現プロジェクト」の推進	県内電力使用量の県外大規模電源への依存から脱却するため、省エネルギー施策、再生可能エネルギー及び分散型エネルギー導入により、2030年度に電力自給率100%の実現を目指します。

V 県政4年間の主な実績

私は、自然、歴史・文化など本県が有するたくさんの「本物」を磨き上げ、全国や海外へ発信し、「選ばれるとちぎ」の実現を目指すとともに、令和元年東日本台風からの復旧・復興をはじめ、人も地域も真に輝く、魅力あふれる元気な“とちぎ”をつくるため、県民の皆様とともに全力で県政運営に取り組んで参りました。

以下は、「とみかず元気宣言2016」に掲げた政策を中心とした、この4年間の主な実績です。

1 ひとが輝く「元気なとちぎ」

- 小学校全学年において35人以下学級を実施(令和2年度)
- 総合スポーツゾーンの整備(新武道館(令和元年度)、新スタジアム(令和2年度))
- とちぎスポーツ医科学センターの整備(令和2年度)
- とちぎ結婚支援センター(平成28年度)及びサテライト(小山センター(平成29年度)、那須塩原センター(平成29年度)、足利センター(令和2年度))の設置
- とちぎ結婚応援カード(とちマリ)を創設(平成29年度)
- ようこそ赤ちゃん!支え愛(あい)事業を創設(令和元年度)
- とちぎの子ども・子育て支援条例を施行(平成30年度)
- とちぎ保育士・保育所支援センターを設置(平成28年度)
- 「とちぎ女性活躍応援団」の運営(平成28年年度～)及び「男女生き生き企業」の認定、表彰の実施(平成29年度～)等による女性の社会参画支援

2 成長力アップ「元気なとちぎ」

- とちぎ次世代産業創出・育成コンソーシアムを設置(令和元年度～)
- IoT等の活用等を支援する栃木県IoT推進ラボを設立(平成30年度～)
- 市町と連携した産業団地の整備を推進
 - ・あがた駅南産業団地(足利市)の整備及び全区画分譲が完了(令和元年度)
 - ・野木第二工業団地の整備及び全区画分譲が完了(令和元年度)
 - ・上三川インター南産業団地及び芳賀第2工業団地の整備に着手(令和元年度)
- 「とちぎ技能五輪・アビリンピック2017」を開催(平成29年度)
- 栃木の農産物ブランド価値向上戦略を策定(平成28年度)
- いちご王国プロモーションの展開(平成29年度～)
- とちぎ食肉センターを整備(令和2年度)
- とちぎの元気な森づくり県民税事業(I期)での奥山林及び里山林の整備(～平成29年度)
- デスティネーションキャンペーン(DC)を展開(平成29年度～令和元年度)
- 「観光立県とちぎの実現に向けたおもてなしの推進等に関する条例」を制定(平成28年度)
- 外国人観光客を受け入れる観光事業者向け多言語コールセンターの設置(令和元年度～)
- 県域版DMO(観光地域づくり法人)を設立(令和元年度)
- 日光国立公園ステップアッププログラム2020」の策定と推進(平成28年度～)
- 栃木県自転車活用推進計画を策定(令和元年度)

3 健康・安心「元気なとちぎ」

- とちまる健康ポイント事業を実施(令和元年度～)
- がん対策推進条例を制定(平成30年度)
- ユニバーサルデザインタクシーの導入(平成30年度～)
及び宿泊施設のバリアフリー化を支援(令和元年度～)
- 食品ロス削減・フードバンク活動の促進(平成29年度～)
- 特殊詐欺被害防止コールセンターを中心とした抑止対策を促進
- 地域共助型生活交通システムの導入を促進(平成28年度～)
- とちぎ暮らし・しごと支援センターを設置(平成28年度)
- とちぎUIJターン応援団登録制度を創設(平成29年度)
- 宇都宮市及び芳賀町が実施するLRT整備事業を支援

4 強くしなやか「元気なとちぎ」

- 災害時における支援物資の広域物流マニュアルを策定(平成29年度)
- 栃木県帰宅困難者対策ガイドラインを策定(平成30年度)
- 地区防災計画策定を促進(令和元年度～)
- 消防防災ヘリを更新(平成29年度)
- 洪水浸水想定区域図を作成(平成28年度～)
- ダム下流河川の浸水想定図を作成(令和元年度)
- 「スマートICの事業化決定(出流原PASIC(平成29年度)、下野SIC(平成30年度))
- 国道408号真岡宇都宮バイパス4車線供用開始(令和元年度)
- 第2回「山の日」記念全国大会in那須2017を開催(平成29年度)
- 「栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言」を全市町共同で実施(令和元年度)
- 商用水素ステーションの整備支援及びFCVの率先導入(令和元年度)
- 内陸型天然ガス発電所「コベルコパワー真岡」の誘致(令和元年度)
- 安定供給性に優れた水力発電所の計画的な整備(大下沢発電所(平成30年度)、
五十里発電所(令和2年度)、小百川発電所(令和2年度))

5 未来への礎を築く「元気なとちぎ」

- 「国体・障害者スポーツ大会局」を設置し、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会開催に向け体制を強化(令和元年度)
- ハンガリー陸上競技協会と東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ受入に係る
覚書を締結(平成29年度)
- 近代五種、水球等ハンガリーの9競技団体と、県、受入4市町で東京オリンピック・
パラリンピック事前キャンプ受入に係る覚書を締結(令和元年度)
- 「とちぎ版文化プログラム」の策定及び推進(平成28年度～令和2年度)
- 「とちぎの慣習・ことば集～のこしていきたい つたえていきたい とちぎの人の想い～」を作成(平成30年度)
- 「とちぎブランド取組方針」を策定し本県の地域資源の磨き上げと戦略的情報発信を実施(平成28年度～)
- 2年間で県内全市町を巡る国際自転車レース「ツール・ド・とちぎ」を開催(平成28年度～令和元年度)

福田とみかずプロフィール

生年月日

昭和28年5月21日 日光市(旧今市市)生まれ

略 歴

- ・昭和41年 3月 旧今市市立猪倉小学校卒業
- ・昭和44年 3月 旧今市市立大沢中学校卒業
- ・昭和47年 3月 栃木県立宇都宮工業高校卒業
- ・昭和47年 4月 栃木県入庁
- ・昭和54年 3月 日本大学理工学部建築学科2部卒業(夜間)
- ・昭和56年 4月 栃木県退職
- ・昭和56年 4月 福田富一設計・福田富一行政書士事務所開設
- ・昭和58年 5月 宇都宮市議会議員選挙 初当選
- ・昭和62年 4月 同2期目当選
- ・平成 2年 2月 栃木県議会議員補欠選挙 次点
- ・平成 3年 4月 栃木県議会議員選挙 初当選
- ・平成 7年 4月 同2期目当選
- ・平成11年 4月 宇都宮市長選挙 初当選
- ・平成15年 4月 同2期目当選
- ・平成16年11月 栃木県知事選挙 初当選
- ・平成20年11月 同2期目当選
- ・平成24年11月 同3期目当選
- ・平成28年11月 同4期目当選